

ヘツカシダ

[シダ] 《嗜好》



大きな個体。



小さな個体。



葉脈は網状に結合する。

区別のポイント

栄養葉・孢子葉ともに単羽状。栄養葉の羽片の辺縁は 1/3 ほど切れ込む。孢子葉の羽片は全縁から波状縁。

形態 常緑性のシダ植物。

分布 九州南部から沖縄

名前の由来 大隅半島の辺塚で発見された。

葉 **〈全体〉** 栄養葉は披針形で単羽状、長さ 30 ～ 70 cm、幅 12 ～ 30 cm、側羽片は 10 ～ 15 対。孢子葉は高く直立する。

〈羽片〉 羽片は狭披針形で基部はやや狭くなり切形から心形で短い柄を付ける。先端は鋭尖頭、辺縁は切れ込む。長さ 10 ～ 17 cm、幅 2 ～ 3 cm で草質。頂羽片ははっきりしていて、先端に無性芽を付ける。大きさは大きな側羽片と同じくらい。

備考

出典 3, 5